

## 今週の主な News

1. 全国まちづくり会議開催の基本方針案について
2. 2022 年度休眠預金活用事業の実施概要

### ■編集長ごあいさつ

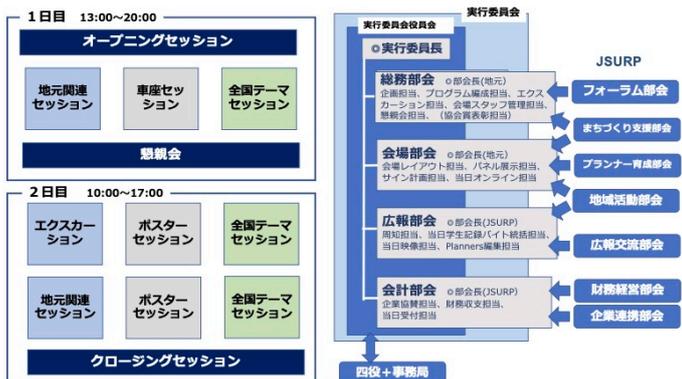
明けましておめでとうございます。2023 年も JSURP 内外の話題、トピックなどを皆様にお伝えしていきます。2023 年は JSURP 設立から 30 年の節目の年であり、全国まちづくり会議を含めいくつかの記念事業を開催する予定で企画を練っています。JSURP News ではこうした協会事業・イベントへの積極参加に向け、会員・関係者の皆様のご意見、ご提言などをお寄せいただく媒体として、会員、関係者の皆様と理事をはじめとする協会執行部とのコミュニケーションの橋渡しを担うツールとしてご利用いただければ幸いです。

### ■今後の全国まちづくり会議開催の基本方針案について

今年で JSURP 設立 30 周年を迎える全国まちづくり会議(全まちは、今秋の 10 月 7 日(土)と 8 日(日)の両日、明治大学の駿河台キャンパス・リバティタワーで開催する予定です。昨年に続き二年連続で東京開催になります。昨年末の理事会で「今後の全まち開催の基本方針」を提案し、概ねの賛同を得ましたので、その概要をご紹介します。

#### 1. 全国まちづくり会議の基本プログラム骨子

全まちは、全国のまちづくりの機運を高めるとともに、開催地のまちづくりの促進の好機になります。また、JSURP の各部会や研究会の日常活動の発表の場であると同時に、協賛企業や開催地の関係団体の活動の交流の場にもなります。プログラムは、下図に示すとおり概ね従来と同様、全国テーマと地元関連のセッションにエクスカッションやポスターセッションを組み合わせたスタイルを基本にします。東京開催は番組の枠を多く用意して幅広い参加を促しますが、地方開催は身の丈にあった規模・形態にするなどの工夫をします。また、コロナ禍が落ち着いても、セッションの一部はオンラインでの参加も可能にします。実行委員会も対面開催を基本としつつ、オンラインを併用することとし、広報活動も SNS などオンラインを中心に展開します。



#### 2. 全国まちづくり会議の実行体制骨子

実行委員会は図に示す総務部会・会場部会・広報部会・会計部会の4つの部会で編成します。総務部会と会場部会は部会長を開催地の地元から選出し、広報部会と会計部会の部会長は JSURP の広報交流部会・財務経営部会・企業連携部会から選出して、JSURP をあげて後方支援することになります。ハイブリッドで開催するので、地方の会員も実行委員会に参加が可能になります。

全まちは JSURP の主催ですが、実行委員会には地元のまちづくり関係団体や協賛企業からも参加いただき、全まちは契機に相互の交流や連携の促進を図ります。また、関係企業の協賛金に加えて、場合によっては参加費を取る方法も検討し、JSURP からの供出金を加えた予算計画を立てることとします。

#### 3. 主要なプログラムの企画に向けて

JSURP のフォーラム部会では、設立 30 周年を記念した連続セッションを企画しています。今年の全まちではその一環としてのセッションが予定されます。2 年に1度選考する日本都市計画家協会賞についてはまちづくり支援部会が主体となってWGを開催し、10 月の全まちでその表彰式、受賞団体の活動発表を行います。また JSURP 研究会によるセッション企画も積極的に行うよう連携を強めていきます。

#### 2023全まち開催準備スケジュールの概要(案)



#### 4. 全国まちづくり会議のキックオフミーティング

今年の全まち実行委員会のキックオフミーティングを 2 月 20 日(月)18:30 から全まち会場の明治大学駿河台キャンパスで開催します。当日全まち会場の下見も行いますし、ハイブリッドで開催しますので、オンラインでも参加可能です。首都圏以外の会員も奮って実行委員に応募ください。(文責:JSURP 会長山本俊哉)



#### 全まち2023実行委員会キックオフMTG

2023年2月20日(月)  
18:30~20:00(予定)

明治大学 駿河台キャンパス  
研究棟4階第1会議室

## ■2022 年度休眠預金活用事業の実施方針

### 1.概要

・2022年度休眠預金活用事業(一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA))は、「外国人と共に暮らし支え合う地域社会形成2～支え合いを豊かさにつなげるまちづくり～」をテーマとし、全国から実行団体を公募し、総額1億円の資金助成、JSURP 会員及び専門家の伴走支援を行います。

**外国人と共に暮らし支え合う地域社会形成2**  
～支え合いを豊かさにつなげるまちづくり～  
公募のお知らせ

**助成概要**

- 事業期間: 2023年1月頃から12月までの1年間
- 助成対象: 1団体
- 採択予定実行団体: 12団体程度
- 1団体あたりの助成金額: 500万円～1,000万円
- 公募期間: 11月1日(火)～12月12日(月)24時

**説明会・審査会のスケジュール**

- オンライン公募説明会: 11月4日(金)10時～11時
- 11月25日(金)24時
- 一次審査書類締め切り: 12月12日(月)24時
- 二次審査書類締め切り: 12月17日(土)午前
- 実行団体内定公表: 12月20日(火)日曜

**公募要領**

応募の詳細に関しては下記の2種類のファイルと、随時の手引きの3点をご確認ください。

- 実行団体公募要領
- 実行団体公募要領
- 実行団体向け見積の手引き

**応募方法および提出書類**

助成申請書に必要事項を記入のうえ、期日までに電子データを下記メールアドレスにご提出ください。

- E-mail: a1d@jsurp.jp
- 認定 NPO 法人日本都市計画協会 宛
- 件名: JANPIA 事業申請書類の提出について

**お問合せ**

認定 NPO 法人 日本都市計画協会 (JSURP) 担当: 小島・千葉  
〒100-0005 東京都千代田区千代田 3丁目 2番 24 番 5号 404 部屋 / 水 300 号室  
メールアドレス: a1d@jsurp.jp

### 2.実行団体の公募、選考について

・令和4年11月4日より12月12日まで外国人を支援する実行団体を募集し、26団体から応募がありました。  
・19団体を第一次審査通過として、必要な追加書類を提出してもらい、第二次審査を12月17日に行い12団体を選定しました。なお、12団体の申請額合計は助成総額を超えるため、各団体の助成額は減額したものとなりました。

### 3.PO/伴走支援 (PO:プログラムオフィサー)

・12団体の伴走支援を行う PO/伴走者は JSURP 会員にむけ募集し、その結果等を踏まえて、PO/伴走者は、6社15人(経験者6人、新人9人)で取り組むことになりました。

### 4.今後のスケジュール

2月から 実行団体による活動開始  
7月 中間進捗報告  
12月 実行団体交流会  
令和6年1月末 実行団体による事業終了  
3月末 配分団体としての事業終了

(文責:JSURP 副会長江田隆三)

### 12実行団体、事業名の紹介(整理番号順)

	①実行団体名	②事業名	③助成額
1	特定非営利活動法人ユナイテッド かながわ(神奈川県大和市)	多国籍団地支援プロジェクト	650万円
2	特定非営利活動法人 Oneself(神戸市)	留学生・技能実習生対象「食・住・職」支援2～やどかりのがっこう2	660万円
3	一般社団法人 反貧困 ネットワーク(東京都)	外国人入居者が管理・運営するシェルターづくり～受け身で支援される存在から主体的行為者への転換を可能にする場としての地域社会形成	1,900 万円
4	NPO 法人多文化フリースクール ちば(千葉市)	脆弱な少数言語の人々への支援と自宅学習者へのサポート体制の構築～昨年度のアウトリーチ調査から見てきた教育課題への取組	490万円
5	NPO 法人 Peace & Nature (神戸市)	Sustainable Global Community で仕事を作ろう！～山村エリアにて外国人が仕事ができる仕組みの構築	240万円
6	公益社団法人シャンティ 国際ボランティア会(東京都)	外国人への包括支援と拠点構築事業～TOSHIMA Multicultural Support "としまる"	1,100 万円
7	特定非営利活動法人まなびと (神戸市)	共生型の地域を支える外国人人材発掘、伴走型支援事業	920万円
8	住みまーる OKINAWA コーシアム (NPO 沖縄 NGO センター、 株)ドリ ムコネクト)	OKINAWA 住みまーる！プロジェクト～沖縄における在住外国人の住環境と地域コミュニティ支援	540万円
9	認定特定非営利活動法人 茨城 NPO センターコモンズ(茨城県常 総市)	孤立しがちな外国籍住民に居場所と出番をつくる～デイホームやシェアハウス運営を通じた多様な仕事の創出	940万円
10	特定非営利活動法人アクセプト・ インターナショナル(東京都)	脆弱性の高い外国にルーツを持つ若者の社会定着促進事業～在日外国人の中でも特にマイノリティであるイスラム教にルーツを持つ若者の包括的支援	830万円
11	特定非営利活動法人北関東医療 相談会(群馬県太田市)	生きていけない外国人のための準生活保護(1)～共助で生きる在留資格の無い外国人の住居	540万円
12	(任意団体)ワールドフレンズ天草 (熊本県天草市)	地方在住外国人散在地域における遠隔地での繋がりと緊急避難先整備事業～国際交流カフェ、オンライン日本語教室、外国人女性・母子支援の構築	1,190 万円

### ■JSURP 活動へのご意見、問い合わせ、提言などは下記へ

編集長(渡会): watarai@jsurp.jp

協会事務局(増井、千葉): jimukyoku@jsurp.jp

### ■今後の主な予定

1月18日(水) 第208理事会

1月19日(木) フォーラム部会

2月15日(水) 第209理事会